



豊川市の観光資源を紹介します。

問合せ先 ● 市観光協会 89-2206

みんナだ!



千両町の犬頭神社と今昔物語の白い犬



古代の三河地方は、生絹や生糸の産地として知られ、特に生糸は、いぬがしらのいと犬頭糸と呼ばれ三河から朝廷に献上された糸は上質で大変喜ばれていたそうです。この糸のいわれについては、今昔物語に、白い犬の話が伝説として伝えられています。

その昔、一匹の野生の蚕が桑の木にいました。白い犬がその蚕を食べると、犬の鼻から二筋の白い糸が出てきました。家の者がその糸をたぐって見たところ、およそ5,000両の生糸が巻き取れたそうです。そして白い犬は、糸を吐き終わると死んでしまいました。この犬をまつたのが、現在の千両町の犬頭神社けんとうと伝えられています。その後、この地方は養蚕が盛んになり、生糸がたくさんとれるようになりました。

また、犬頭神社では、明治36(1903)年に千両町から財賀町に通じる峠どうたけ付近で出土した、三河地方最古と言われている銅鐸が宝物として所蔵され、桜ヶ丘ミュージアムに展示されています。

この白い犬の伝説と銅鐸について、知らない方も多いのではないのでしょうか。

